

2 金大連携サポート

内 容

県内公立学校及びその他の団体*からの依頼に応じて、研修センター指導主事とともに金沢大学の先生方が訪問、またはオンラインで対応します。教職員を対象に、講義・演習、授業参観等を行い、専門的な見地からの助言を行います。

※その他の団体 … 県、各郡市町単位の教職員で構成された任意団体

以下の内容は、サポートの対象外となります。

- ・学校の教育課程の編成や学校研究の進め方などに関するもの
- ・教育事務所や学校指導課等の学校訪問の内容に関わるもの
- ・基本研修の模擬授業や指定研究授業等に関わるもの（市町立学校及び県立中学校のみ）
- ・公開研究発表会に関わるものや各種審査等の依頼（サポート以外の手続きが必要）
- ・受講者が教員以外の研修（児童・生徒、保護者等）

実施期間及び申込方法

実施期間：令和8年4月30日(木)～令和9年3月12日(金)

申込方法：希望日の4週間前までに、研修申込システムより、サポート仮申込を行う。

- ・4月～8月の依頼は4月1日(水)より、9月～3月の依頼は7月1日(水)より申込受付を開始。
- ・サポート仮申込入力フォームに従い、希望日時、教科・領域、内容の詳細等を記入する。
- ・担当する指導主事から電話で連絡後、詳細を確定し、正式申込を行う。

◇サポート対象（研修申込システムを使っての「仮申込時」にどちらかを選択）

サポート対象	サポ ー ト
学 校	校内研修や個人研修に関するサポート（学校単位）
地 域	その他の団体の研修等に関するサポート（例：学校教育研究会等）

◇受講形態（研修申込システムを使っての「仮申込時」にどちらかを選択）

受講形態	サポ ー ト
訪 問	学校等に金沢大学の先生と指導主事が訪問して行うサポート
オンライン(ライブ)	Web会議システムを利用して行うオンラインでのサポート

「仮申込時」における「1人1台端末活用」の確認 ※チェック☑は最初から入っています

- ・サポート内容に1人1台端末の活用の内容を含む場合 …… チェック☑はそのままで結構です
例) 授業づくりで1人1台端末の活用場面が1回でもある 等
- ・サポート内容に1人1台端末の活用の内容を含まない場合 …… チェック☑を外してください

◇内容・講師

以下の講師及びサポート内容を確認し、研修申込システムサポート仮申込入力フォームの「教科・領域」選択時に希望する金沢大学の先生を選択してください。

名 前	吉川 一義	役 職	金沢大学教職大学院 教授
テーマ	校内・専門機関連携による組織的児童生徒支援（特別支援教育を含む）		
対 象	小・中・高・特の教職員		
内 容	いじめ・不登校・障害・貧困・生活の乱れ等の問題を抱える児童生徒には、心理教育的支援や生活環境の改善支援も必要です。 そのためにもまず、本人が抱える問題構造を、児童生徒の自己評価資料（Q-U学級集団分析など）を有効活用して分析し、インフォームド・コオペレーション（児童生徒の自己管理行動の涵養を目指し、教育活動の協働企画・実施・評価過程による実践）により改善を目指す方法について考えます。		
時間・回数	時間や回数については、話し合ってから決定します。		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	武居 渡	役 職	金沢大学教職大学院 教授
テーマ	通常学校における特別支援教育の考え方と合理的配慮		
対 象	幼・小・中・高・特の教職員		
内 容	通常学校における特別支援教育の考え方について、発達障害の疑似体験などを通して児童生徒の気持ちになって考え、そのような児童生徒の支援の在り方について考えます。 また合理的配慮の考え方について説明し、児童生徒の自己理解の重要性とその支援についても考えます。		
時間・回数	2時間程度		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	本所 恵	役 職	金沢大学教職大学院 教授
テーマ	教育評価研修		
対 象	小・中・高・特の教職員		
内 容	各学校の取組を踏まえ、総合・探究的な学習や、教科学習での評価について、ワークショップ形式で協議します。 実際の具体的な児童生徒の作品や学習の様子を参加者が実際に評価し、観点や価値観の違いを明らかにしながら、より良い評価について考えます。		
時間・回数	2時間程度（別途、事前の打ち合わせが必要です）		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	加藤 隆弘	役 職	金沢大学教職大学院 准教授
テーマ①	これからの授業づくりと「いしかわ学びの指針12か条」について		
対 象	小・中の教職員		
内 容	校内研修、ワークショップ形式で実施します。実施校の授業を参観したあと（学校研究テーマに基づく研究授業等が望ましい）それらの授業映像や校内研資料などを元にその学校の取組の概要整理、もしくは対象授業についての分析・協議を行います。その後、県内外各学校の授業実践について検討した上で、今後の授業改善についてさらに深めの討議をします。 要望に応じて、学習指導要領改訂等を見据えた、これからの学習の在り方、授業改革の方向性についての講話も組み込みます。		
時間・回数	年2回～3回程度継続することが望ましい。		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	加藤 隆弘	役 職	金沢大学教職大学院 准教授
テーマ②	効果的な学校研究運営の在り方について		
対 象	小・中の研究主任、研究部など		
内 容	各学校の実際的な取組状況を踏まえて、計画・準備段階での協議、校内研修会実施の際の参加、協働でのワークショップ実施、事後協議（デブリーフィング）などを通して、効果的な学校研究運営・実施を支援します。		
時間・回数	年複数回が望ましい。		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	加藤 隆弘	役 職	金沢大学教職大学院 准教授
テーマ③	SDGsのための教育・ESDについて		
対 象	幼・小・中・高・特の教職員		
内 容	より持続可能な未来を築くため、国連は持続可能な開発目標（SDGs）を示し、私たちが直面する諸課題の解決を目指しています。この課題解決のために必要な力をはぐくむ教育がESD（持続可能な開発のための教育）です。 この講座ではSDGsの理念をとらえ、ESDについて各地（北陸を中心に）の具体的な取組を踏まえて学び、討議します。		
時間・回数	ご相談に応じます。		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	鈴木 瞬	役 職	金沢大学教職大学院 准教授
テーマ	学校改善のための組織マネジメント研修		
対 象	小・中・高・特の教職員		
内 容	各学校の実態を踏まえ、学校組織の課題を検討し、改善するためのファシリテートを行います。短期的なものではなく、中・長期的な学校組織改善を目指すスタートアップとしての研修です。ワークショップ型の研修を通して、ボトムアップ型の学校改善を目指します。 なお、具体的な課題や内容は相談をしながら、学校の状況に合わせて決定します。（例：人材育成、校内研修、若プロ、学年経営、など）		
時間・回数	時間や回数については、話し合って決定します。		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	中尾 真也	役 職	金沢大学教職大学院 講師
テーマ	児童生徒の自己肯定感の向上を目指した算数・数学の授業づくり		
対 象	小・中の教職員		
内 容	自己肯定感と算数・数学の学力との相関について考えた上で、自己肯定感の向上を目指した算数・数学の授業とは具体的にどのようなものなのかについて、演習形式で協議します。		
時間・回数	2時間程度		
可能な時期	ご相談に応じます。		

※講師及び内容の追加については、随時センターWebページでお知らせします。